

# まかせて！ やってみるよ！ さいごまで！

小学校1年生

## I アクティビティについて

### ねらい

各自が家で分担している仕事や自分ができると思う仕事等について発表し合い、保護者と一緒に仕事に取り組む体験を通して、家族の一員としての役割を責任をもって果たそうとする態度を育てる。

### ◆◆◆視点◆◆◆

- ◎権利と責任
- コミュニケーション能力
- 参加・参画

### 設定の理由

この発達段階の児童は、興味関心のあることや自分の好きなことに対しては、率先して行動するが、しなければならないことに対しては、後回しにしたり、忘れたりしがちである。また、家庭生活においても、家の手伝いなど家庭内の役割分担も持続しない傾向が強い。

そこで、家庭で手伝える仕事を見直し、保護者の協力のもとにその実践に取り組む活動を通して、自分の役割を責任をもって果たそうとする態度を育成し、権利と責任に関する知識や技能の発達の基礎を築きたい。

### アクティビティの概要 (4時間扱い)

活動1	家庭における自分のしている仕事や、自分のできる仕事を発表する。 自分の挑戦してみたい仕事を選び、実践する計画を立てる。	1時間
↓		
活動2	グループに分かれて、保護者と一緒に仕事体験をする。	2時間
↓		
活動3	体験した感想を交流する。 ・「いえのしごと やるぞ カード」を書いて家の仕事計画を立てる。	1時間

## アクティビティの実際

- 準備するもの
  - ・「てじゅん カード」
  - ・「いえのしごと やるぞ カード」
- アクティビティの進め方

### 活動1 話し合い

- ① 家で自分のしている仕事について発表させる。教師は、児童の発表を表にまとめるようにする。
- ② 家で自分ができる仕事について発表させる。教師は、児童の発表を表にまとめるようにする。

<参考例>

じぶんのしているしごと		じぶんができるしごと	

### 活動2 家の仕事の計画づくり

- ① 活動1で作成した表を提示する。
- ② 表をもとに、自分が挑戦する仕事を選ばせる。
- ③ 選んだ仕事ごとにグループをつくる。
  - ・洗濯グループ
  - ・洗濯物たたみグループ
  - ・掃除グループ
  - ・窓ふきグループ
  - ・皿洗いグループ
  - ・おふろ掃除グループ 等
- ④ 自分たちのグループの仕事の手順をカードに書かせる。

### 活動3 家の仕事体験

- ① 保護者とかかわりながら、グループで仕事体験をさせる。
  - ・一緒に体験をしてくれる保護者を紹介する。
  - ・仕事体験できる場所に移動させる。
  - ・保護者と一緒に仕事体験をさせる。

※グループで考えた仕事の手順に従って、仕事体験を進めるが、保護者からアドバイスをもらいながら、修正して効率よく進められるようにする。

- ・ 保護者から家の仕事についての話を聞かせる。  
 ※数名の保護者から児童が、家の仕事へ参加することへの期待について話してもらうようにする。

活動4 話し合い

- ① 仕事体験をしての感想を話し合う。

<ふり返りの留意点と発問例>

- 仕事体験をとおして、家の仕事の大変さや仕事を終えた後の達成感、保護者の日頃の工夫、今後の取組について話し合うようにする。

発問例

仕事体験をして、新しい発見がありましたか。

発問例

家の方は、毎日、どんな気持ちで家の仕事をやっているのでしょうか。

発問例

自分ができる家の仕事は何でしょう。

- ② 「いえのしごと やるぞ カード」を記入する。

**アクティビティを指導するポイント**

- ◇ 保護者と一緒に仕事体験をするため、保護者とは、事前に十分打合せを行うようにする。その際、第1時の児童の仕事体験の計画にもとづいて打合せが行えるようにする。
- ◇ 「いえのしごと やるぞ カード」をもとに、児童のその後の実践に結びつけるため、保護者と連携を十分図ることが大切である。そのために、事前に保護者会や学級だよりで、協力を依頼しておくことが必要である。

## Ⅱ 授業展開例

～小学校1学年「生活科」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
1	<p>1 家で自分でしている仕事や家で自分ができる仕事について、話し合う。</p> <p>2 「家の仕事表」をもとに、自分が体験する仕事を選ぶ。</p> <p>3 選んだ仕事ごとにグループをつくる。                      &lt;例&gt;・洗濯グループ                      ・掃除グループ                      ・窓ふきグループ                      ・皿洗いグループ 等</p> <p>4 グループで体験する仕事の手順をカードに書く。</p>	<p>○児童に家での生活を想起させ、自由に話し合えるようにする。</p> <p>○教師は、表を用意し、児童から出た仕事を記入していくようにする。</p> <p>○「家の仕事表」を提示し、児童自身が体験する仕事を選択できるようにする。</p> <p>○選択した仕事でグループを編成するようにする。</p> <p>○グループで協力して、手順や準備する物を「てじゅんカード」に書けるようにする。</p>
2	<p>5 一緒に学習をする保護者にあいさつをする。</p> <p>6 仕事体験のやり方について確認する。</p> <p>7 仕事体験をする。</p> <p>8 保護者の話を聞く。</p>	<p>○仕事体験実施にあたっては、家庭科室で実施するなど場の工夫をする。</p> <p>○一緒に仕事体験を手伝ってくれる保護者の方々を紹介する。</p> <p>○各グループ1名程度の保護者の協力を得るようにする。</p> <p>○確認する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成した「てじゅんカード」を保護者に見てもらいアドバイスをもらうこと</li> <li>・保護者からのアドバイスをもとに「てじゅんカード」を直すこと</li> <li>・直した「てじゅんカード」に基づいて仕事体験をすること</li> </ul> <p>○一緒に体験をした保護者から、児童が家の仕事に参加することの期待について話してもらうようにする。</p>

<p>1</p>	<p>8 仕事体験をしての感想を話し合う。</p> <p>9 自分が家で続けてできる仕事を「いえのしごとやるぞ カード」に書く。</p>	<p>○保護者と一緒に実施した仕事体験を次の視点で振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事体験をしての感想</li> <li>・ 仕事体験をしての新しい発見</li> <li>・ 家の仕事をしている保護者の苦勞</li> <li>・ 自分ができる家の仕事</li> </ul> <p>○自分が家でできる仕事、仕事のやり方などをカードに書けるようにする。</p> <p>○書けない児童には、仕事体験を思い起こさせたり、家に持ち帰って保護者と相談して決めたりできるようにする。</p> <p>○カードに書いた仕事を続けて実践できるように投げかける。</p>
----------	--	---

### Ⅲ 資料

(1)「てじゅん カード」例

<いえのしごと てじゅん カード>  
なまえ( )

☆どんな いえのしごとを やって みたいですか？

☆ その しごとは どうやれば いいですか？

はじめは
をします。

2ばんめは
をします。

3ばんめは
をします。

☆ きをつけることを かきましよう

(2)「いえのしごと やるぞ カード」例

<p>&lt;いえのしごと やるぞ カード&gt;</p> <p style="text-align: center;">なまえ</p>		
<p>★ぼくが わたしが やる いえの しごと★</p>		
<p>★やりかた★</p>		
<p>いえのしごと できたかな？</p>		
<p>やった ひ</p>	<p>できばえ</p>	<p><small>テープ（内）</small> <small>シラビラ</small> 保護者から一言</p>
<p>がつ にち</p>		
<p>★いえのしごとを やって うれしかったこと★</p>		